

# 平野屋新田会所を国史跡指定に 文科省に政府交渉



山下よしき参院議員

宮本たけし元参院議員とともに

(共産党北河内南議員団)

11月21日、千秋市議は北河内南議員団と文科省を訪れました。山下よしき参院議員・宮本たけし元参院議員が同席しました。

平野屋新田会所を国史跡指定にという要望に対し、山下信一郎：文化庁文化財部記念物史跡部門博士(文学)文化財調査官は「江戸時

# 大東民報

## 議会版

日本共産党  
大東市議会議員団  
大東市谷川1丁目1-1  
TEL 072-871-5588



市議員  
まさひろ  
まさひろ



市議員  
つとむ  
つとむ



市議員  
かつこ  
かつこ

・090-1079-8939

### 法律相談

1月8日(火)  
夜7時  
市民会館  
予約制です  
TEL 871-5588 まで

### 12月議会始まる

- 3日(月)本会議
- 5・6日いきいき委員会
- 7・10日まちづくり委員会
- 19日~21日  
一般質問・本会議

\*傍聴にお越し下さい!  
市役所2階、議会事務局にて  
傍聴券発行しています。

相手方は予断を許さないと聞いて  
いるが、市教委の粘り強い交渉を見  
守り、注視していききたいとの答弁  
をしました。

千秋市議はこの間の超党派での取  
組みについて説明し、機は熟してい  
ることを訴えました。

代18世紀、大和川付け替えにより新  
田開発が行われた歴史的価値の高い  
ものである。

大東市では保存について努力され  
ており、運動が盛り上がりつつあるの  
を承知している。

手続的には文化審議会に諮問す  
ることになるが、地元自治体の調整  
により条件が整っていることが必要  
だ。

所有者の同意、地元関係者の合意を  
いただければ諮問にかけていくつも  
りだ。

### 日本共産党各議員質問の項目と日程



#### 豊芦勝子議員

- = 19日午後1時20分~2時10分 =
- (1) 子どもの成長発達、その環境整備のトータルビジョンについて
    - ・ 保育所民営化や子育て支援センターの指定管理者導入について
    - ・ 療育センターの利用負担を減らし、必要な専門職の配置をせよ
  - (2) 大東のまちの歴史や緑を生かしたまちづくりビジョンについて
    - ・ 古提街道の整備計画を!
    - ・ 野崎観音見晴台、樹木剪定や眺望図を設置するなど計画はどうなっているのか。
    - ・ 南新田の東側、遊歩道整備計画について進捗状況について
  - (3) 伝統的文化の継承と情操教育について
  - (4) 北条山林活用について
  - (5) 安全と安心の道路整備について
  - (6) 妊婦検診について

#### 古崎勉議員

- = 20日午前11時頃~11時50分 =
- (1) 保育所の民営化について
  - (2) 新田地域の住工混在の解消について
  - (3) サラ金(多重債務)の相談窓口充実を
  - (4) 三箇大橋の架け替えについて
  - (5) 生活保護について
  - (6) 新田・寝屋川北部下水処理場の屋上整備について

#### 千秋昌弘議員

- = 20日午後1時~1時50分 =
- <1> 同和行政の終結をめざして
    - ・ 取り組みと経過について
    - ・ 北条教育センターを大東市全体の財産として発展させるために<北条緑地など>と一体のものとして活用を!
  - <2> 人権と福祉行政について
    - ・ 生活保護、介護、医療
  - <3> 安心安全のまちづくりについて
    - ・ 行政・市民一体となってシステムづくりを

# 大東市政の市民的再生をめざす 「まちづくりシンポジウム」盛大に

二日(日)、「まちづくりシンポジウム」が主催したシンポジウムが市民会館四階大会議室で開催され、区長以下、幅広い市民を含めて百二十人が参加しました。

第一部で、平野屋新田会所を考える会の小林義孝氏が「大東・河内は稲作が最も早く定着した地域で、江戸時代は大坂の台所を支えた地域。三箇キリシタンはローマまで鳴り響いていた。平野屋会所を始め、市内に残る堂山古墳、飯盛城など歴史的遺産を見直し、歴史を生かした風格のあるまちづくりを」と呼びかけました。

続いて、津の辺保育所保護者会の橘田隆史氏が市と保護者の「小委員会」の様子を紹介。第一部の最後に、松



久よしき氏が各種のデータを使って市民生活の実態と市財政がどうなっているかを詳しく説明しました。

中村鎮夫(生健会会長)、松浦哲朗(市教組)、西田由紀子(療育センター保護者会)、佐知弘光(民商会長)、橋川正樹(里山の会)

の各氏が発言、報告しました。

中村氏は、国保が社会保障制度であること。大東市の生活保護率は府下最低水準で、市民に冷たい実態を告発しました。

松浦氏は今の子どもが学校で携帯やゲームに熱中していることを注意するのは教師だけで、教育の困難性を強調されました。

た。

◆ ◆  
第二部は、孝忠延夫氏(開西大学教授)がコーディネーターをつとめ、

西田さんは「障害者自立支援法で増えた負担を軽減してほしい」と三万を超える請願署名を市議

会に提出、採択されたのに市はやろうとしないことを批判。「療育」という言葉の意味も解らず、不安な気持ちだけを胸に療育センターに足を踏み入れたあの日のことを今も覚えておくことなど、ご自分の体験を通して療育センターに通園できて我がこの成長と自身の安らぎの場として無くてはならない療育センターの果たす役割を強調されました。



佐知氏は「自営業者にとって預金は運転資金なのに、税務署に差押えられて困っている」等。

橋川氏は、自分の子ども頃の頃の大東の情景をふり返りながら、「このまち大東の将来の姿はいかにあるべきか」かけがえのない豊かな自然のなかで里山の会の活動をつうじてたゆまない努力を続けていると話されました。

西村元市長への「名誉市民」称号を求める決議が、3日の本会議で即決。市議会17名中、日本共産党3人と無党派1人の反対で可決となりました。

提案者は、市議員 岩淵弘、寺坂修一、中野正明

日本共産党は、反対討論をし本会議終了後、「名誉市民」は全議員の賛同を得られる事が基本など、申しれを行いました。

孝忠氏は、3つの基調報告を受けて、「市民的再生」の抛りどころとして(1)市政診断に必要なデータを市民が共有する(2)まちの将来像を描き決めるのは市民(3)「官」はそもそも「民」の限界を補完するために生まれたのだということ忘れてはならない。市民診療所による大東「まち」ドックで市政を診断し、市民による自主的な「まち」の健康チェックを市民の手で行ってみましょうとまとめをされました。

松久氏は「今日は、市政の市民的再生をめざす議論の第一歩として成功。大東の歴史と文化を再確認した場だ。市民参加を単に手続きとせず、主体者として尊重を」と結びました。

08年 新春・決起のつどい  
1月6日(日)午後2時~4時  
大東市民会館 4階大会議室

大晦日12時45分、野崎観音で恒例の新年挨拶

